

南仏治安情報(2010年12月)

■プロヴァンス地方

1. 武器を伴う強盗事件が多発

12月には地方紙が報じたものだけでも14件の武器を伴う強盗事件が起きました。内4件はエクス市やLes Milles市で起こっており、被害はタバコ屋やピザ屋のほか薬局、大型スーパーと多様で、金価格が高騰している現状を背景に金を含む金属運搬車両が高速道路料金所で強盗に遭う事件もありました。犯人のほとんどは未だ検挙されていません。

2. 若者グループによる暴力事件

12月中旬にはマルセイユ14区で10人近くの若者グループにより、中学生3名が理由もなく暴行を受ける事件が2件、包丁や日本刀で武装してHenri-Wallon中学校の教職員を襲撃する事件、その直後に同じメンバーがスーパーマーケットへの入店を断られ逆上し、監視員や客を武器で脅す事件が起きました。犯人は未だ逮捕されていません。

3. 誘拐事件の犯人グループを逮捕

12月14日、マルセイユ市やエクス市などで行われた警察の一斉捜索の結果、麻薬取引に関わる13人が逮捕され、エクス市北のCélony市の一軒家では、マルセイユのタバコ屋経営者の弟で数日前に誘拐され監禁されていた男性を救出、誘拐犯4名を逮捕しました。家宅捜索では武器や取引用の麻薬、多額の現金などが押収されました。

4. 金の闇取引関与者を逮捕

昨年8月から通行人の金のネックレスなどを狙った凶悪な引ったくりが続いていますが、12月に入り容疑者10数人が取調べを受け、盗んだ金製品を不法に購入、転売していた29歳の宝石商、19歳の引ったくり犯、21歳の麻薬取引者が逮捕されました。冬季は厚着になり貴金属の露出が少ないため路上でのひったくり件数が減少していますが、被害者宅まで尾行し家に侵入して引き剥がす事件も見られているようです。ご注意ください。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. ニース市内の犯罪統計

12月下旬に県庁が発表した統計によると、ニース市内で2010年11月に起こった暴力事件は1280件と10月の1343件に比べ若干減少しました。2010年1月1日から11月30日までの犯罪件数は16462件で、2009年同期間の16149件に比べ+1.94%と若干増加傾向にあるようです。

2. 小型商店への武器を用いた強盗事件

ニース市内では12月に地方紙が報じたものだけで9件の武器を用いた強盗事件が起きました。ガソリンスタンドやタバコ屋など小型商店が狙われ、犯人は武装してヘルメットなどで顔を隠しており、スクーターで逃走する手口が多いようです。宝石店への強盗1件を除き、レジの中の売上金数百ユーロと幸いにも小額の被害に留まる事件が多く見られました。

3. 未成年による犯罪が多発

アルプ・マリタイム県内では、2010年1月から11月末までに3887人の18歳以下の未成年者が犯罪に関与しており、犯罪全体の20%を占めています。中でも車両窃盗(+

11%)や空き巣(+14%)、性的悪戯や暴力(+100%)、武器を用いた強盗(+66%)への関与が前年同時期に比べ増加傾向にあります。

4. コルシカ島内での銃器使用による殺人事件

12月には地方紙が報じたものだけで3件の殺人事件が起きました。12月2日朝にはSartèneで62歳男性医師が車を降りた際に何者かに撃たれ、5日夕方にはBigugliaで30歳男性が子供が居合わせた乗用車内で銃撃され、17日夜にはPrunelli di Fiumorbuで48歳男性が自宅前に停めた車から降りる際に銃撃されました。

■ミディ・ピレネー地方

1. 深刻な空き巣被害

ミディ・ピレネー地方では空き巣被害の増加が問題となっていますが、2009年から2年間で当地方の住宅の約2.5%が未遂を含む空き巣被害に遭っていることが明らかになりました。12月にはトゥールーズ市および郊外で29件の住居への空き巣、13件の商店への空き巣が起き、モンペリエ市郊外では在宅中の住人に対して暴行を加える凶悪な押し込み強盗が6件起きました。街中だけでなく郊外でも被害は多いので戸締りに十分ご注意ください。

2. トゥールーズ市および郊外の強盗事件、2日に1件と多発

12月には地方紙が報じたものだけで16件(内13件はトゥールーズ市内)の商店への強盗事件が起きました。前月同様、ナイフを用いて小型商店の売上金を狙った単独での犯行がほとんどで、銀行強盗1件を除き小額の被害で済む事件が多く見られました。

3. 金属窃盗犯を逮捕

Hérault 県や Gard 県で12月に入り、金属窃盗・闇取引への関与者19名が3回に渡り逮捕されました。電話ケーブルや工事現場の機材など数十トンが盗まれ転売されていたことが明らかになりました。12月には他にもCévennesやMudaisonなどで電話ケーブルが切断されることにより、数百世帯で電話やインターネット回線が不通となる事件が起きています。

4. 偽の訪問者に注意を

トゥールーズ市では高齢者を狙った訪問詐欺事件が3件連続しておきました。まずGDF職員や水道局員を名乗る男が訪れ被害者を騙して家に入り込むと、直後に警官を偽る2人組が1人目の詐欺を捕まえる名目で訪れ、被害者に貴重品などを出して確認するよう促した後、3人で貴重品を盗んで逃走するという手口です。モンペリエ市でもベランダ清掃業を偽る男が、現金や貴重品を盗む事件が起きています。安易に自宅に招き入れないようにご注意ください。

■その他テロリスト関連記事

1. コルシカ島で観光施設の爆破事件

12月22日夜Castellare-di-Casincaにある観光客への宿泊施設に、10人近くの覆面の武装グループが侵入し、滞在中の12人近くの客を奥のバンガローに監禁した後、受付や責任者の別荘などを2回に渡り爆破させる事件が起きました。観光開発に反対する声が高い中で起こった事件ですが、犯行声明は現在のところ出ていません。

以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。